

# 新庄信用金庫レポート

*DISCLOSURE* (平成30年9月末)

*SHINJO SHINKIN BANK*

## ごあいさつ

信用金庫は、協同組織形態の地域金融機関として、経営の健全性、透明性の確保を基本に、その社会的使命を果たし、会員をはじめとする地域の中小企業や住民の方々から、高い信頼と信認を得てまいりました。

現下の金融環境・経済におきましては、日本銀行による「マイナス金利政策」が継続されている中、緩やかな回復基調が続いているものの、景気先行きについては、米中通商問題の動向などに対する懸念もある一方、相次ぐ自然災害からの復旧関係の需要や、来年予定されている消費税増税に対する駆け込み需要が見込まれております。

その中で地区内景況においては、依然として中央との経済格差が拡大傾向にあり、深刻な状況が続いております。

以上の経営環境のもと、お客様との「共通価値の創造」構築に向けて、地元になくてはならない金融機関として『地域社会の繁栄に貢献する』ことを経営理念とし、役職員一致協力して努力する所存であります。

今後とも、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成30年11月

理事長 井上 洋一郎

## CONTENTS

1. 金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）
2. 自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項
3. 預金・貸出金の状況（残高）
4. 貸出金の内訳（業種別区分残高）
5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）
6. 総代会の機能・総代の氏名等
7. CSR進捗状況
8. 地域貢献
9. トピックス

（記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません）

## 1. 金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）

（単位：百万円）

債務者区分※	平成30年9月末	平成30年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	953	888
危険債権	2,542	2,577
要管理債権	50	56

（注） 上記の平成30年9月末の計数は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規制」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数と異なるため、計数は連続しておりません。

- 平成30年9月末の「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分を前提とし、同年3月末から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに債務者区分の引下げ等があった債務者について、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の変更をしております。この場合、債務者区分が下方へ変更になった場合を対象とし、債務者に対する債権額を新たに加算、元の債務者区分欄から減額しております。
- 平成30年9月末の「要管理債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分を前提とし、同年3月末から9月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち①新たに3ヵ月以上延滞となった債権、②新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」に変更になった金額を減算しております。

また、平成30年3月末時点の自己査定金額を基準として、半期中の増減額を勘案しております。

### ※ 債務者区分

- 破産更正債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）
- 危険債権（破綻懸念先）
- 要管理債権（要注意先のうち、利払いが3ヵ月以上延滞しているか、貸出条件を緩和している債権）

## 2. 自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項

（単位：%、百万円）

項目	平成30年9月末	平成30年9月末 (経過措置による不算入額)	平成30年3月末	平成30年3月末 (経過措置による不算入額)
単体自己資本比率	12.02	-	11.59	-
コア資本に係る基礎項目の額	5,289	-	5,112	-
コア資本に係る調整項目				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	4	1	4	1
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-	-	-
前払年金費用の額	103	25	103	25
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	-	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額	107	-	107	-
自己資本の額	5,181	-	5,004	-
リスク・アセット等の額の合計額	43,083	-	43,163	-
信用リスクに対する所要自己資本の額	1,588	-	1,592	-
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	134	-	134	-
単体総所要自己資本額	1,723	-	1,726	-

### 3. 預金・貸出金の状況（残高）

（単位：百万円）

	平成30年9月末	平成29年9月末	平成30年3月末
預金	69,735	68,029	68,146
貸出金	39,899	39,536	40,443

### 4. 貸出金の内訳（業種別区分残高）

（単位：百万円）

	平成30年9月末	平成29年9月末	平成30年3月末
製造業	2,354	2,488	2,547
農業、林業	561	419	566
建設業	2,934	2,446	2,839
電気、ガス、熱供給、水道業	1	-	-
情報通信業	18	-	14
運輸業、郵便業	385	356	386
卸売業、小売業	2,284	2,262	2,311
金融業、保険業	1,788	2,132	2,060
不動産業	7,822	7,764	7,638
物品賃貸業	30	42	35
学術研究、専門・技術サービス業	18	5	19
宿泊業	679	709	652
飲食業	597	630	604
生活関連サービス業、娯楽業	378	402	413
教育、学習支援業	161	117	121
医療、福祉	1,640	1,602	1,748
その他のサービス	3,105	3,230	3,148
小計	24,763	24,612	25,111
地方公共団体	1,277	1,073	1,217
個人（住宅・消費・納税資金等）	13,858	13,851	14,114
合計	39,899	39,536	40,443

（注）業種別区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

### 5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

（単位：百万円）

	平成30年9月末				平成30年3月末			
	時価	評価差額	うち		時価	評価差額	うち	
			益	損			益	損
その他有価証券	14,954	△ 196	370	567	13,891	△ 544	216	761
株式	299	△ 37	6	44	371	△ 50	0	51
債券	509	1	5	3	616	3	5	2
その他	14,145	△ 160	358	519	12,903	△ 497	210	707

	平成30年9月末				平成30年3月末			
	帳簿価額	含み損益	うち		帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損			益	損
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）1. 平成30年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、平成30年9月末時点の帳簿価格と時価との差額を計上しております。  
2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は、決算上に影響しません。

## 6. 総代会の機能・総代の氏名等

### 【総代会の機能について】

総代会は、当金庫の会員の中から定款に定める方法によって選任された総代で組織される最高議決機関です。

### 【総代の氏名等について】（平成30年9月30日現在）

#### 1. 総代の氏名等

選任区域	人数	氏名・就任回数（丸内数字）
新庄地区	37名	藤田 敏雄⑩ 森 俊明⑥ 沼澤 正則⑨ 涌井 正和⑥ 山科 昭雄⑨ 涌井 洋一⑥ 阿部 浩悦⑨ 結城 敏夫⑤ 江口 好彦⑩ 白倉 周二⑩ 菅 信二⑨ 阿部 茂① 長倉 洋一郎⑩ 井上 孝一① 吉田 慶一⑤ 日下 修一① 片岡 潤二⑤ 奥山 貴裕① 富樫 利宏⑨ 井上 和郎① 阿部 克⑤ 大場 清文① 海藤 健治⑦ 柿崎 千恵① 井上 貞治⑦ 武田 一夫① 赤松 正文⑥ 佐々木 新一郎① 伊藤 雄一⑥ 津藤 真知子① 佐藤 啓⑥ 沼澤 孝典① 田澤 雅宏⑥ 梁瀬 幹子① 長南 雅行⑥ 加藤 秀幸① 早坂 幸久⑥
最上郡地区	16名	佐藤 景一郎⑩ 青柳 富士男⑥ 川田 幸一⑧ 星川 新一① 庄司 和敏⑥ 笹原 洋雄① 熊谷 市夫⑤ 寒河江 宏一① 高橋 智之① 佐々木 重四郎⑧ 山科 義行① 大場 利秋⑨ 柴田 清正⑤ 大石 紳一郎① 岸 伊和男⑩ 佐藤 隆①
天童・大石田地区	14名	有路 好彦⑧ 山口 孝之⑧ 庄司 正彦⑤ 荒木 正憲⑥ 吾妻 正章① 土屋 昭智① 狩野 一康① 設楽 勇吉① 大場 和敏① 矢吹 栄修① 富樫 正一① 村山 与四郎⑨ 芳賀 義隆① 八鍬 隆正①
河北町地区	1名	工藤 信策①
庄内町地区	1名	鈴木 富士雄①

#### 2. 総代の属性別構成比

職業別	比率（%）
法人代表者	56.5
個人事業主	26.1
個人	17.4
合計	100.0

年代別	比率（%）
40～49歳	8.7
50～59歳	17.4
60～69歳	40.6
70歳以上	33.3
合計	100.0

業種別	比率（%）
製造業	7.3
農業、林業	2.9
建設業	20.3
運輸業	1.4
卸売業、小売業	30.4
不動産業	5.8
学術研究、専門・技術サービス業	1.4
宿泊業	2.9
生活関連サービス業、娯楽業	2.9
医療、福祉	7.3
その他のサービス	17.4
合計	100.0

## 7. CSR進捗状況

(コーポレート・ソーシャル・レスポンスビリティ)

CSRとはCorporate Social Responsibilityの略で、一般的に「企業の社会的責任」と言われます。

### ～ご存知ですか？CSR～

企業の事業継続性(サステナビリティ)は財務諸表のみではなく、お客様、職員や地域社会などの存立基盤によって形成されるものであり、こうした多面的な配慮が、企業の将来的な発展には必須の条件であるという考えです。協同組織である当金庫は、日頃の本業を通じた事業活動そのものが、CSR活動に結び付けております。



地域農業における「新産地プラットフォーム構築」と「職員のイノベーター養成」を目指し、新庄信用金庫、地域住民、大学、企業が連携して取組みを開始しました。

### ◆ コーポレートガバナンス（企業統治）

#### ・お客様の声に耳を傾けます。

当金庫では、お客様から頂いたご意見等を参考に、様々な活動を行っております。これからも、地域に密着したより良い金融機関を目指すため、ご協力をお願いいたします。

<進捗状況>

- ・社会保険労務士との連携による「個別年金相談訪問」を実施しております。
- ・山形大学「学連携プラットフォーム」に参加し、営業係がお客様から承った課題に応じて最適な専門家を派遣しております。



「山形大学認定産学連携コーディネーター研修・スキルアップ研修」に職員が参加いたしました。現在、18名の職員が産学連携コーディネーターとして認定を受け、うち10名の職員がシニア産学連携コーディネーターとして認定を受けております。



山形大学の柴田孝教授による企業への現場改善・経営相談を毎月実施しております。

### ◆ ステークホルダー（当金庫を取り巻くあらゆる利害関係者の方々）

#### ・お客様からの相談にアドバイスできるよう努力しております。

当金庫では、お客様の堅実な資産づくりのお手伝いをさせていただいております。より多くのお客様の現状や将来の生活設計に役立てるよう、ご相談機能や、新商品の開発、サービスの一層の充実に向け、職員一丸となってFP(ファイナンシャルプランナー)技能士資格取得を目指し、努力してまいります。

<進捗状況>

- ・日本ファイナンシャル・プランナーズ協会のAFP資格とCFP®資格取得に向けた取組みを継続しております。
- ・大学教授、大手企業経営者による経営塾や、社会保険労務士・コンサルタントによる経営相談を実施しております。
- ・山形大学と共に顧客の課題発掘・解決に関する取組みを行っております。

### ◆ エコロジー・社会貢献

#### ・NPO法人バイオマスものがみの会と共に、バイオマス（生物資源）の利用に関する普及啓発活動や、企業の森づくり活動、新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営等、明るく住みよい地域社会づくりに貢献しています。

<里山地域の「森づくり活動」>

- ・161名の参加者で「森の材料で木工体験・遊歩道下刈りと芋煮会」を開催し、全長約700mの遊歩道下刈り整備と、森の材料で木工体験を行いました。
- ・約20名の参加者で「森のホームステイによる絆の森植樹活動」として、苗木（コナラ・ミズナラ等）約70本を「里帰り」植樹しました。

<新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営、絵画コンクール等>

- ・当金庫敷地内において、献血バスによる近隣の住民対象の献血活動を行いました。
- ・第5回「東北・夢の桜街道」絵画コンクールを開催し、表彰式を行いました。





## 8. 地域貢献

# 新庄信用金庫と地域社会

～ 地域に根ざしたコミュニティバンクをめざして ～

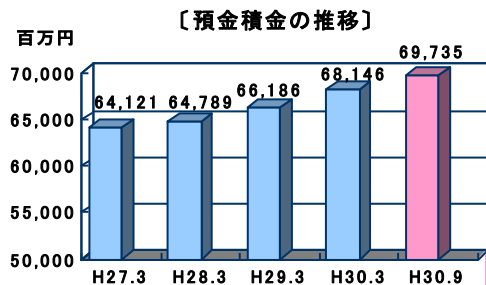
＜ 当金庫の地域経済活性化への取組みについて ＞

当金庫は新庄市、最上郡、北村山郡、尾花沢市、東根市、村山市、天童市、山形市、寒河江市、河北町、庄内町を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は地元で資金を必要とするお客様にご融資を行って、事業や生活向上のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

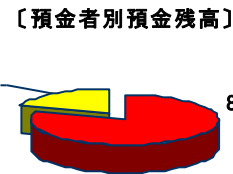
### ◆預金積金残高【69,735百万円】

当金庫では、地域のお客様の堅実な資産づくりのお手伝いをさせていただいております。より多くのお客様からご利用いただけるよう新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。



### ◆「えほん定期」(夢がかなう本)

えほんの主人公に、お子様等のお名前が入った、世界でたった1冊の自分だけのオリジナル絵本をプレゼントします。



新庄信用金庫

地域のお客様／会員の皆様

預金積金／出資金

「地元」で預けて頂いたお金は「地元」へ。

貸出金／支援サービス

### ◆貸出金残高【39,899百万円】

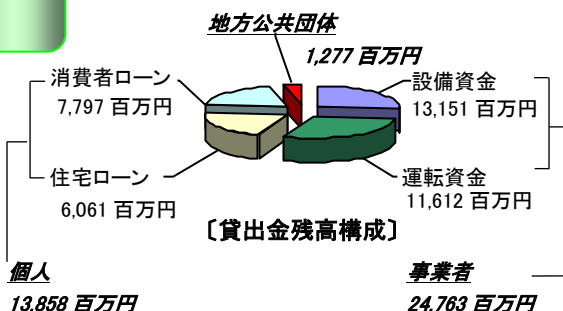
預金積金に対する割合【57.2%】

地元のお客様からお預け入れいただいた預金積金につきましては、お客様の様々な資金ニーズに応え、地域経済の活性化に資するためにご融資を行い、地域社会に還元しております。その結果、個人のお客様を含めた地域の事業者の皆様に対し、総貸出金の約91.5%をご融資しております。  
※その他は地方公共団体等へのご融資です

### ◆取引先への支援等

当金庫は、業績低下に苦慮しているお客様には親身になって相談し、打開のための改善策や経営改善計画書等へのアドバイスをするなど、金銭面だけでなく生きた支援を心掛けております。

また、お取引先事業経営者への情報提供と、異業種交流・親睦を図る場として「しんきんエグゼクティブクラブ」を運営し、経済・文化講演会や各種セミナー等を開催、お取引先様の発展と繁栄のお手伝いをしております。



### ◆新規創業支援

地域の活性化を目的とした創業支援商品「コミュニティビジネスローン」や、街づくりを支援する「NPOサポートローン」がございます。



## 9. トピックス

### 地域貢献・CSR

山形大学・最上総合支庁・市役所・会議所主催の勉強会・会議等や、イベント・コンサートを定期的にレキシントン新庄にて開催・支援を行っております。

学生のインターンシップを受け入れ、茶道や金庫業務を実際に体験していただきました。

講師に蓮池薫氏を迎え、山形新聞による最上県勢懇話会例会を当金庫大ホールにて開催しました。



### 新庄商工会議所と「QRコード決済を用いたキャッシュレス化実証実験」の取組みを開始

NIPPON Tablet は、店舗様に「あったら安心・便利」な最先端おもてなしサービスをご提供

- 1 決済サービス
- 2 7ヶ国語テレビ通訳
- 3 集客/顧客化機能
- 4 先読進捗作成サービス
- 5 店舗BGMサービス

2018年12月31日までにお申込みの店舗様限定！  
キャンペーン実施中！  
タブレット端末導入のレンタル料がずっと0円



当金庫は、新庄商工会議所と連携し、地元の飲食店・小売店、旅館等の「QRコード決済を用いたキャッシュレス対応」を進めております。

キャッシュレス実証実験として、店舗でのスマートフォン(スマホ)決済などを地域ぐるみで取り入れ、周辺営業エリア内の温泉街でも参入を検討しております。

本取り組みでは、訪日外国人客(インバウンド)などに対応し、同時に店舗や商品のマーケティング機能拡充も期待されています。

### 新庄商工会議所・新庄信用金庫・山形大学の三者による【会議所・しんきん・山形大学 経営塾】



新庄商工会議所、新庄信用金庫と山形大学の三者が共同して、新庄最上地域の経営者及び後継者を対象とする「経営塾」を開講しております。この経営塾は、地域の皆様の経営力向上とリーダーとしての見識を高めることを目的とした1年間の育成プログラムが用意され、第一線の経験豊富な講師から最新の経営スキルを学び、それぞれの事業を発展させていく方法を学べる内容となっております。

### フラッグアートによる芸術文化推進プロジェクト「空中庭園」応援定期預金

応援定期預金

空中庭園プロジェクト

旗高 MOVEMENT

申込期間 平成30年10月15日(月)～平成30年12月28日(金)

対象	個人及び法人の口座
対象商品	10万円以上、新築お祝い金3000円～定期預金(社会保険)
申込期間	個人：1年・2年・3年・5年・10年 法人：1年・5年
利率	店頭表示利率
特長	お祝い金 平成30年12月31日時点で「0」%超低金利を享受期間プロジェクト期間内となります。(お祝い金の利息は異なります。)
注意事項	お祝い金はお祝い金専用口座に振り込まれます。 お祝い金の利率は異なります。お祝い金の利率は店頭表示利率です。 1000円・10000円・100000円・1000000円・10000000円・100000000円・1000000000円 個人のお祝い金：20,000円、法人のお祝い金：10,000,000円以上となります。

本 店 ☎22-4222 新庄信用金庫 万穂利支店 ☎23-1266  
支 店 ☎22-4226 西 支 店 ☎22-5000

芸術文化と地域のあるべき姿を追求しようという、芸術文化推進プロジェクト「空中庭園」が新庄駅前通りで「フラッグアート」という形で始まりました。この応援定期預金にて、集まった預金残高の0.1%相当額を本プロジェクトに贈呈いたします。



## 産学金連携横町『いい食観！やまがた』のビジネスマッチング事業

当金庫は山形大学と様々な形で連携しております。特に、山形大学工学部、山形大学国際事業化研究センターとの間では、地元中小企業の事業支援のための連携協力協定を締結しております。



山形大学との連携による「産学金連携横町」に参加し、ビジネスマッチ東北2018にて10社の顧客企業出展をサポートしました。

## 城南信用金庫プロジェクト 全国47都道府県産のお米をブレンドした日本酒「絆舞」



城南信用金庫による被災地復興応援「興こし酒プロジェクト」に参加し、福島県の酒蔵にて当金庫の若手職員が日本酒の絞り作業を体験しました。完成したお酒は、全国47都道府県産のお米をブレンドした日本酒「絆舞」(きずなまい)として名付けられ、後日山形県知事に贈呈されました。

## やまがた絆の森における里山地域の「森づくり活動」

山形県の森づくりによる二酸化炭素削減の推進、地域活性化などを目指した「やまがた絆の森プロジェクト」において、新庄信用金庫、NPO法人バイオマスもがみの会、山形銀行、山形県、柴草山管理組合、新庄市の6者間で「やまがた絆の森『しんきん結(ゆい)の森・ぐるっと花笠の森【新庄】』」として協定を締結し、活動を継続しております。

このプロジェクトで私どもは、地域住民、企業が気軽に森づくりを行い、活動成果を実感できる仕組みを構築するためにバイオマスもがみの会等と共にコンソーシアムを形成し、下記のような活動を行っております。



平成30年9月30日(日)

### 「森の材料で木工体験・下刈りと芋煮会」

- ・161名の参加者で全長約700mの遊歩道下刈り整備と、森の材料で木工体験を行いました。

平成30年10月20日(土)

### 「森のホームステイによる絆の森植樹活動」

- ・山形県が行っている「森のホームステイ」事業にて、苗木(コナラ・ミズナラ等)約70本を「里帰り」植樹しました。

平成30年11月発行

新庄信用金庫 総合企画室

〒996-0027 山形県新庄市本町2番9号

TEL. 0233-22-4222 (代表)

***SHINJO SHINKIN BANK***